

にゃんがらじゃん

プレイ人数：2～4人 対象年齢：8才以上 プレイ時間：20分 作：与儀新一
ネコ3匹の名前を一気に作ります。大きな役か早上がりか？あと1枚で上がりするとき、ドキドキがバレないように。【難易度★★★】

1 ゲームの準備

- 各プレイヤーはネコリストカード1枚を、「3人4人」と書かれた面を表にして自分の前に置き（2人プレイのときも）、この面を見ながら遊びます。余ったネコリストカードは使いません。
- すべてのカタカナカードをよく切り、各プレイヤーは8枚ずつ受け取って手札にします。
- 残ったカードを裏向きの山札にしてテーブル中央に置き、その横を全員共通の捨札置場とします。ゲーム中、捨札置場の下のカードは見られません。山札の枚数はいつでも確認できます。
- すべてのネコチップから4枚を適当に選び、クビワなしの面を表にして山札のそばに置き、これを目的ネコと呼びます（基本ルールと違い、2人プレイでもサビのチップを使います）。



例1：3人プレイ（プレイヤーA・B・C）

2 遊び方

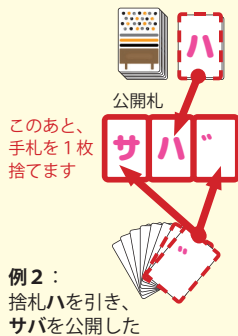
- 一番最近ネコをなでたプレイヤーから、時計回りに手番を行います。
- 手番が来たら、次の①か②のどちらかを行います。
- ②はゲーム中、1人1回だけできます（しなくても構いません）。

① 山札を1枚引き、手札を1枚捨てる

- 山札の一番上からカード1枚を取り、手札に加えます。
- 次に、手札のカード1枚を、表向きに捨札置場に置きます。すでに捨札があればその上に重ね、下のカードが見えないようにします（*）。

② 捨札を1枚引き、名前を1つ公開し、手札を1枚捨てる

- 捨札置場の一番上のカード1枚を取って手札に加えたあと、このカードを含む手札2～4枚で、ネコリストカードにある名前（クビワも含む）を1つ作り、自分の前に並べて公開します。これを公開札と呼びます。他のプレイヤーの公開札と同じものを公開しても構いません。
- 最後に、手札のカード1枚を捨てます（捨て方は①の*と同じ）。

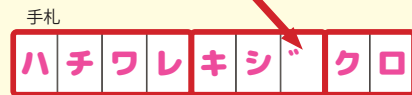


例2：捨札ハを引き、サバを公開した

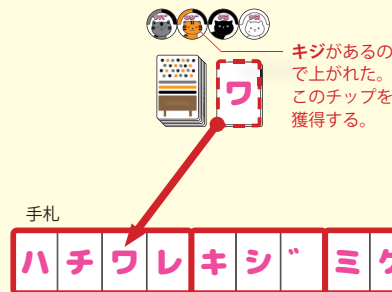
3 ゲームの終了

- 誰かが上がったら、ゲームが終了します。
- ①で山札を引いたとき（例3）、または、②で捨札を引いたとき（例4）、すべての手札を使って、ネコリストカードにある2文字・3文字・4文字の名前（クビワも含む）を1つずつ作れ、かつ、その中に目的ネコの名前が1つ以上あるなら、上がることができます。
- 自分の公開札がある場合、それは手札にあるものとして上がるることができます（例5）。②で捨札を引いて上がることはできません。

- 「い」は1文字として数えます。
- 上がるときは「ニャン！」と言って、手札を公開し、自分が作った名前の目的ネコのチップ（1～3枚）を獲得します。



例3：山札からクを引き、上がった



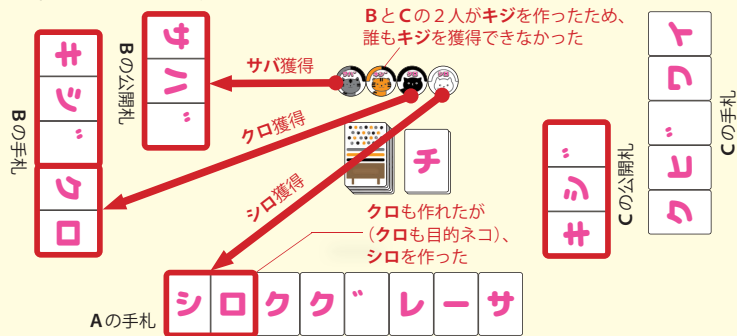
例4：捨札ワを引き、上がった



例5：山札からクを引き、上がった

誰かが山札の最後の1枚を引いたら

- その手番の終了後、ゲームが終了します。最後のプレイヤーが上がらなければ、各プレイヤーは手札の中で、目的ネコの名前を好きなだけ作って並べます（上がるときと違い、名前の文字数は気にしません）。名前が選べる場合（例6のAのシロカクロ）は、好きな方を並べます。
- 全員同時に手札を公開し、公開札も含め、自分1人だけが作っている目的ネコの名前があれば、そのチップを獲得します（例6）。2人以上が作っていたら誰も獲得できません。チップが1枚も獲得されないこともあります。
- 同じ目的ネコの名前を1人で2つ以上作ることや、クビワに意味はありません。



例6：全員が手札を公開し、Aは1枚、Bは2枚のネコチップを獲得した

ゲームが終了したら

- 最初に手番を行うプレイヤーを、時計回りに交代して、新しいゲームを始めます。
- 獲得したネコチップは、次のゲーム以降も持ち続けます。
- 目的ネコは、まだ獲得されていないすべてのネコチップから新たに4枚選びます（足りないときはあるだけ）。

4 勝利条件

- ゲームをくり返し、累計3枚以上のネコチップを獲得したら勝ちです（1回のゲームで勝負がつくこともあります）。
- 2人以上同時に達成したら、累計獲得枚数の多い方の勝ちです。それも同じときは引き分けです。

警告！ 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
製作 77spiele お問合せ <https://77spiele.jp> ©2023 Shinichi Yogi, 77spiele.

▼裏面は「にゃんがらめくり」ルール